

ご意見・ご感想

「第7回鶴川駅を考える会」では、多くのみなさまのご参加により、盛況のうちに会を終えることができました。会を終えて様々なご意見やご感想をいただきましたのでご紹介いたします。

- ・鶴川駅らしさを考え続けてほしい。また私も駅に愛着がもてるように関わっていききたい。(30代男性)
- ・商業施設などの周辺の進捗も併せてわかるように、今後も設計プロセスを知る会があると良い。(70代男性)
- ・将来の良し悪しは今後にかかっていると思います。引き続き宜しくお願い致します。(40代男性)
- ・継続した話し合いだからこそその深さを感じられました。仕事帰りに参加できる夜の開催があっても良いと思います。仕事をしている人の視点がないかなと思いました。(女性)
- ・広く地元住民の意見を募るアンケートを行ってはどうか。(50代男性)
- ・地域の方と歴史や情報の話ができるワークショップという形式はよかった。今後も続けてほしい。一般人が意見を言えるのはとてもありがたいが、「こういう計画があるから、こうなる。その中でどんな意見がありますか？」というウソや立場を捨てた会にしたほうが地元の人気持ちも良いものになったと思う。これで終わらせず、最低でも年一回は何かしらやって地元の人とともに進めていってほしい。(40代男性)

今後の予定

全7回の鶴川駅を考える会を終え、「鶴川駅を考える会」の最終報告会を開催致します。これまでの「鶴川駅を考える会」の成果報告であると同時に、今後の鶴川駅に関する活動のスタートとなる会です。どなたでも参加可能ですので、皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

報告会

9/7(土)10:00~11:30

@和光大学ポプリホール鶴川 B2 ホール

※定員 300名(申込不要)

当日は直接会場にお越しください。



<https://goo.gl/forms/Kq26noBlzUptEFYA3>

第7回 8/17(土)14:00~16:00
@和光大学ポプリホール鶴川 多目的室

全体計画案をもとに駅をよりよく するアイデアを出しました

和光大学ポプリホール鶴川の3階多目的室にて、以下のような次第で「第7回鶴川駅を考える会」が開催されました。

- 14:00
・「第6回鶴川駅を考える会」の振り返りと最新の全体計画案の説明
- 14:15
・ワークショップの内容についての説明
- 14:25
・大まとめシートにシールを貼りながら、意見やアイデアを追加していく
- 15:30
・全体総括と議論の共有
- 15:50
・感想カード記入 ・記念撮影
- 16:00
・お茶会



主催：「鶴川駅を考える会」実行委員会(小田急電鉄株式会社、町田市地区街づくり課、株式会社TNA)



最新の全体計画案が発表されました

「第6回鶴川駅を考える」では全体計画案がはじめて公開され、計画案に対する意見やよりよく発展させるためのアイデアが多く集まりました。それらの意見やアイデアを参考に計画案がブラッシュアップされ、改善案が発表されました。駅事務室上の空間利用や自由通路南端の眺望テラス設置等の空間の使い方に関する提案や、ロータリーの庇設置やコンコースの通路幅拡張等の設計に関する提案も取り入れられました。



報告会に向けて「鶴川駅を考える会」を総整理しました

1. 大まとめシートで振り返る

これまでの「鶴川駅を考える会」で出された意見やアイデアを大きく6つのテーマに分類した「大まとめシート」、が壁一面に掲示されました。掲示された意見やアイデアの蓄積をもとに、各々自由に移動しながら、興味のあるテーマや重要だと思ふテーマについて議論を交わしました。



2. 意見やアイデアを追加しながら重要なポイントを確認する

議論に並行して「いいねシール」や「私やりますシール」を貼っていき、重要なアイデアや当事者として何かできそうなアイデアを確認しました。また、新たなアイデアや意見をポストイットに書いて貼り、これまで出てきた提案をブラッシュアップしました。最後に各テーマごとに行われていた議論を全体で共有し、これまでの「鶴川駅を考える会」を通して考えてきた内容を再確認しました。



こんなご意見・ご提案がありました！

テーマの垣根を越えながら、これまでに出了意見・アイデアをもとに発展的な議論が行われました。ここでは、「いいねシール」が多く集まったアイデアや、議論が盛り上がったアイデアについてご紹介します！

仕組み・運営

- フリーWi-Fi・電源
- 夜間図書館
- 高齢者が使える駅
- 運営団体をつくる
- 鶴川文庫・本棚

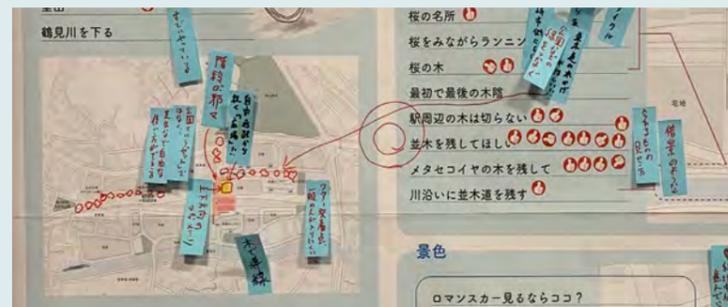
他のテーマの内容も含め、鶴川をよりよくするための活動を引き続き行う運営団体をつくる。

- 敷居を低く→誰でも参加の場
- 住民から企画募集(BOX設置)→他人事ではなくなる
- 運営団体をつくる
- NPO法人を立ち上げる→管理する
- 鶴川アート&スポーツプロジェクト委員会を発足

景色・景観・自然

- 並木を残してほしい
- 駅の中から自然が見える
- 公園などの緑をつなぐ

駅周辺や川沿いの並木は残す。また、今ある自然を生かし、駅から望める借景として取り入れる。



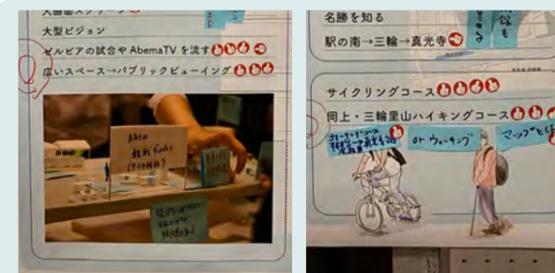
空間・設え

- 自由通路拡大・拡張
- 自由通路を広げて商業施設と一体の空間をつくる。



- 雨をしのげる屋根があるとうれしい
 - イベントON・OFFで切り替え
 - ベンチ
- 街のあらゆる場所にイベントや活動ができる場をつくり、イベントON・OFFで切り替える設えを考える。

情報・発信

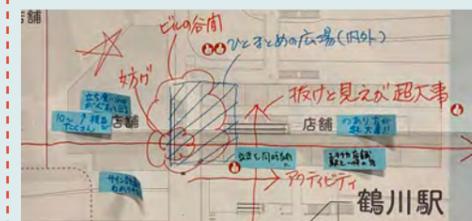


- ゼルビアの試合やAbemaTVを流す
 - 広いスペースでパブリックビューイング
 - 岡上・三輪里山ハイキングコース
 - 散歩マップを見る
 - サイクリングコース
- 「交通・ネットワーク」に関わるアイデア

交通・動線・ネットワーク

- 自転車通行
- 車が通りぬけにくい通路
- 踏切をなくし人だけ通行可能

- ビル谷間
- 商業施設に挟まれた通路を広げ、商業施設の1階と併せた広場とする。



活動・滞留・居場所

- 通路ではなく広場
 - 子どもたちが床ラクガキを楽しむ
 - カフェ
 - 子どもが壁面に絵を描く
 - 楽器演奏
- 駅の子どもたちが落書きできるような場所を用意する。香山が公開されるのに伴い、カフェを設ける。また、ゴミ箱など必要な設備も整える。

